

「学校教育目標」と「令和2年度重点目標」に向けて

学校教育目標	自ら学び 自ら考え 心ゆたかに たくましく生きる子
令和2年度重点目標	主体的に学ぶ子ども 共に支えあう子ども 自分から行動する子ども ～ みんなが笑顔 学校って楽しいな！ 梶ヶ谷の町 大好き ～

豊かな人間性

- ・互いのよさを認め大切にする
- ・思いやりと感謝の心をもつ
- ・進んで取り組み、表現し、共に育つ
- ・最後までやりぬく

健康・体力

- ・自己管理・生活管理ができる
- ・運動に親しみ、丈夫な体をつくる
- ・基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）を身に付けている

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

- ・主体的に学ぶ（自分の考えをもつ・相手に伝える・相手の考えを受け止める）
- ・粘り強く問題解決
- ・豊かに表現する
- ・学んだことを活用

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・見通しとふりかえりを行い、学びを調整する力
- ・考えを比べて共感したり違いに気付いたりする力
- ・根拠のある考えで問題解決の方法を見出す力
- ・自分の考えを修正、改善して再構成する力

子供の实態

- ・基本的な生活習慣は概ね身につけている
- ・規範意識が高い
- ・言われたことは懸命に取り組む

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・児童理解とそれに基づいた学びの支援
- ・COを中心とした支援体制の充実
- ・一人一人の教育的ニーズの把握と支援
- ・きめ細やかな配慮と指導の充実

目指す子供の姿

- ・誰とも関わり、互いの良さを認める
- ・自ら学ぶ子発信し、受け止め、考える、活用する
- ・粘り強く取り組み学びの調整をする

何を学ぶか

○教育課程の編成

- ・言語能力、情報活用能力の育成
- ・他教科と連携し、地域素材、人材を生かした指導計画
- ・年間を見通したカリキュラム作り
- ・各教科等の特質に応じた見方・考え方を学びの過程の中で働かせる。

どのように学ぶか

○教育課程の実施

- ・「あたたかな聴き方・やさしい話し方」を基盤とする協働的な学びのスタンダード
- ・「主体的・対話的で深い学び」と子どもが学習を展開する
- ・「ひと、もの、こと」と関わりあい、見通しとふりかえりを意識した学習

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- | | | | |
|--------------------------|------------------------|-----------------|------------|
| ・授業改善と研究推進 | ・校内研修の充実 | ・TT、少人数、交換授業の活用 | ・家庭自主学習の推進 |
| ・地域・保護者との連携 | ・子どもを支援するための外部機関との情報共有 | | |
| ・地域素材、人材を生かした授業づくりの推進と連携 | | | |

安心・安全を守る

- ・環境、体制づくり（アレルギー対応含む）
- ・人権教育の推進といじめを起こさない取り組み
- ・自分の命は自分で守る取り組み
- ・防災、防犯、情報モラル教育の推進 ・配信メールの活用

開かれた学校作り

- ・学校だより等による情報発信 ・学校ホームページの充実
- ・学校教育推進会議により目標等の共有
- ・地域との連携、各種行事への参加
- ・懇談会、オープンスクール等での子どもの育ちの共有